

妊産褥婦・新生児への対応法を医療者のBasicに

BLSOプロバイダーコース 旭川医大2024

日時：2024年5月26日（日） 9：00～17：20（予定）

会場：旭川医科大学 看護学科棟 4階 大会議室

主催：旭川医科大学産婦人科「周産期支援及び若手育成基金」
HOPPIE（北海道周生期医療救急支援の会）

共催：NPO法人周生期医療支援機構（OPPIC）

対象：病院前産科救急に関わる救急隊員、救命救急士、救急科医や
家庭医、看護師、助産師など

定員：18名

参加費：15,000円（認定料含む）

募集期間：2024年4月1日（月）～4月14日（日）

申し込み方法：下記のフォーム、もしくは
QRコードからお申し込み下さい

<https://forms.gle/JV9mi3YxNAMT6rNk9>



Basic Life Support in Obstetrics (BLSO) は、日常的には妊産婦・新生児に関わらないものの、突如急変場面に遭遇する可能性がある救急隊、救命救急士、救急科の看護師・医師・家庭医を主な対象とした教育プログラムです。

- ・産科疾患の見落としを避ける
- ・周産期施設以外での分娩を避ける
- ・しかし、避けられない事態に遭遇した際の対処を行うことができる

この目標に対し、分娩介助・新生児蘇生・女性傷病者の評価を講義と実技のワークステーションを行い、症例検討を行う1日コースです。

受講後、筆記試験とマネキンを用いた実技試験に合格すると米国家家庭医療学会とALSO-Japanが認定する3年間有効の認定証が発行されます。

今回の講習会を通じて、周産期についての知識を深め、病院前、救急外来、周産期で顔の見える関係を築きましょう。

問い合わせ先：旭川医科大学病院 救命救急センター
助産師 片山 恵理
jimmu.ekatayama@gmail.com



スケジュール

時 間	内 容
8:45～	受付
9:00～9:10	オープニング
9:15～12:05	分娩介助、新生児蘇生、女性傷病者の評価
12:05～12:55 (12:15～12:35)	休憩 ランチョンセミナー
12:55～13:20	マタニティケアの安全性
13:30～14:30	症例検討
14:40～17:10	筆記試験・実技試験、救急車内分娩
17:10～17:20	クロージング

ランチョンセミナー 病院前出生の児の対応（仮）
旭川医科大学小児科学講座 助教 二井 光磨医師

使用テキスト（事前学習に必要です）

下記のテキストで事前勉強をしてください

- ・日本版救急生成ガイドライン2020に基づく新生児蘇生法テキスト第4版
（監修：細野 茂春 発行：メジカルビュー）
- ・病院前救護のための産科救急トレーニング – 妊娠女性・院外分娩に対する実践的な対処法
（監訳：新井 隆成 発行：中外医学社）

前日に、災害時母子救護セミナーを開催します

日時：2024年5月25日(土)

- ・避難所運営ゲームで考える災害と避難所：9時～12時（予定）
 - ・医療ケア児の災害時対応（オプションコース）：13時～15時（予定）
- *午前、午後のどちらかでも参加可

場所：旭川医科大学病院 看護学科棟

参加費：無料

申し込み：下記フォーム、またはQRコードからお申し込み下さい

<https://forms.gle/PMGrMoQdwHqQ4oim7>

募集期間：2024年4月1日～4月21日

募集人数：30人

お問い合わせ先：旭川医科大学病院 救命救急センター

片山 恵理 Jimu.ekatayama@gmail.com

